

# 産・学・官

## 連携事例集

—企業マッチング事例—



INSTITUTE OF INDUSTRIAL PROMOTION

公益財団法人  
川崎市産業振興財団

令和6年3月



## はじめに

公益財団法人川崎市産業振興財団では、平成17年8月、公的支援施策の活用促進と優れた技術を有するものづくり企業の発展・育成を目的とした「コーディネート支援・出張キャラバン隊」を発足いたしました。以来、大企業や研究機関、大学などが持つ知的財産と中小製造業が持つ技術の融合（産学官連携）を目的として、発足以来、延べ6,000件を越える企業への訪問を実施しております。そして実際に経営者や技術者の方々とお会いし、要望に応じて助成金情報の提供、ビジネスパートナーや大学の紹介などを実施して参りました。

そうした訪問活動の中で出会った、産学連携や産産連携を通じた新技術や新製品の開発ですばらしい実績を残す企業を取材させて頂き、このたび連携に至った経緯や取り組み方をまとめた「連携事例集」として発行することとなりました。

新技術・新製品の研究開発について、「興味はあるが、やり方が分からない」「気後れしてしまう」という声も多く聞こえるように、経験のない企業にとっては産学連携や産産連携はハードルが高い課題として敬遠されている節がある一方で、一度でも経験したことがある企業は、以後も新製品・新技術開発の有効な手段として積極的に取り組んでいるようです。

どうすれば産学連携や産産連携が出来るのか、興味はあるが分からない、そんな経営者の皆様にとって、本冊子が参考の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、本書の発行にあたり取材にご協力いただいた企業の方々に厚く御礼を申し上げます。

令和6年3月

公益財団法人 川崎市産業振興財団

# 目 次

頁

## 事例紹介（掲載事案 5 件）

1. 株式会社住吉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 聖マリアンナ医科大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3. タカツクラフト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4. ハップ・ビー・ビー株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5. 外国人材活躍応援フォーラム立上げについて・・・・・・・・・・・・ 12

## 支援事業紹介

- コーディネート支援活動・出張キャラバン隊  
知的財産交流事業（川崎市知的財産戦略推進プログラム重点事業）・・・・・・ 16
- 産学連携 試作開発促進プロジェクト  
川崎市産業振興財団の中小企業支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場・・・・・・ 18
- 川崎ものづくりブランド認定事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 第 20 回 川崎ものづくりブランド認定製品・技術一覧事業・・・・・・ 20

# 連携事例紹介

# 株式会社住吉

大学との共同研究で伝統食品を科学する  
～産学連携で解明する『久寿餅』のひみつ～



代表取締役社長 森 明弘

久寿餅は小麦でん粉を発酵させた発酵小麦デンプンから作られる和菓子である。具体的には、まず小麦粉に水を加えたものを練り、それを水洗いすると小麦でん粉は水で流され、グルテンが残る。グルテンは麩の原料となる。一方、流されたほうの小麦でん粉をさらにふるいにかけて、残ったグルテンを取り除いたものを1年半から2年発酵させ、それを水切りすると久寿餅の原料となる。この原料を何度も水洗いしたのち、型に入れて蒸し上げ、冷却すると久寿餅が出来上がる。

久寿餅は江戸時代後期の関東地方周辺が発祥とされており、江戸の庶民の間では寺社参道の名物として親しまれてきた。現代においても、東京都では亀戸天神や池上本門寺、神奈川県では川崎大師周辺にて数件の久寿餅屋がある。

株式会社住吉は大正6年から川崎大師門前で久寿餅の製造販売を行っている。長い歴史を持ちながらも、久寿餅の更なる可能性の追求に関心を持ち、産学連携による共同研究等を希望しているとの話が地元の川崎信用金庫を通じて弊財団にあった。



昭和5年頃の住吉

## ■ 共同研究の実施

そこで、弊財団産学連携コーディネータが久寿餅原料の成分や構造等に関し、共同研究いただける大学を探した。食品関係の研究者を中心に探したところ、東京農業大学の内野教授、野口教授のグループにて対応いただけることとなった。特に野口教授は久寿餅そのものの研究を行っており、これまでに、久寿餅原料はその製造過程で独特の粒状の組織を形成したりするため、性質や食感に特徴が出てくるなどの研究成果を発表していた。

早速、研究の方向性等の打合せを行い、半年程度予備的な研究を実施した後、共同研究契約を締結、研究を開始した。住吉から久寿餅原料のサンプルを提供し、東京農業大学にて各種科学的分析、及び久寿餅原料の他の食品への活用などについて検討を行った。現在までに、久寿餅原料（発酵小麦デンプン）からはグルテンが検出されず、グルテンフリーとなること、また、久寿餅原料を加えたシフォンケーキはよく膨らみ、さらに、加えないものに比べ柔らかくなる傾向があることがわかった。これらにより、グルテンフリーの食材、及び物性改良用途での活用可能性があることが明らかになった。これらの研究成果については、日本食品工学会第70回記念大会にて「久寿餅原料・発酵小麦デンプンの加工特性と応用」という表題で発表された。



久寿餅原料含有率の違いによるシフォンケーキの膨らみ方の違い

## ■ 久寿餅原料の更なる可能性

以上の研究より、久寿餅原料の特性が少しずつ解明されてきた。今後の展開としては、久寿餅原料は発酵小麦デンプンという名前の通り、現在様々な点で注目されている発酵食品の一つであると言える。そのため、微生物の作用による特性も期待できる。今後はそういった点も含めて、久寿餅の魅力をさらに引き出すべく、東京農業大学と様々な研究を実施していく予定である。



久寿餅

## 会社概要

企業名：株式会社住吉  
 創業：1917年（大正6年）12月  
 所在地：川崎市川崎区大師町4-47  
 電話番号：044-288-4437  
 代表者：森 明弘（モリ アキヒロ）  
 資本金：1,000万円  
 事業内容：和菓子の製造・販売・喫茶店の営業  
 URL：<https://kuzumochi.com/>

# 聖マリアンナ医科大学

## 川崎市補助金の獲得を契機とした研究成果が『インパクトファクター20超』の国際医学雑誌に掲載！

～内科医会×医科大学×現場の医師×バイオベンチャーの『ALL川崎』による最先端研究への挑戦～

2023年7月21日、聖マリアンナ医科大学 Website 上に「本学と川崎市内科医会、株式会社ナレッジパレットとの共同研究によりコロナワクチン複数回接種に影響を受ける遺伝子群を発見いたしました」との記事がプレスリリースされた。

そう、ここまでの道のりは過酷なものであったが、川崎市内科医会、聖マリアンナ医科大学および株式会社ナレッジパレットの3者がワンチームとなり進めていた共同研究が極めて高い評価を得ることができた。チームの皆は安堵を覚えると共に新たな挑戦に意欲を燃やしている・・・

### ■ プレスリリース要旨

本学大学院医学研究科バイオインフォマティクス学分野 大学院教授 山本博幸、本学消化器内科学 臨床教授 渡邊嘉行氏が川崎市内科医会、株式会社ナレッジパレットとの共同研究により、mRNA コロナワクチン接種を「複数回」接種する毎に、発現上昇する遺伝子群の同定に成功いたしました。本研究成果は、国際科学雑誌 *Journal of Medical Virology* に、2023年6月22日オンライン版で発表されました。本研究により、今後の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)発症の病態解明に、さらには mRNA ワクチンの更なる開発進歩に大きく貢献するものと期待されます。

### ■ プレスリリース内容のポイント

◆新型コロナウイルス感染症に対する、医療従事者へのコロナワクチン優先的接種を活用し、自らのワクチン接種前後の経時的な採血検体を研究貢献に活かそうと、「川崎市内科医会」出川寿一会長、渡邊嘉行副会長が中心となり、川崎市内のクリニック・民間病院内科医が結集。さらに、聖マリアンナ医科大学 大学院医学研究科 バイオインフォマティクス学分野(山本博幸教授)、株式会社ナレッジパレットとの共同研究により、mRNA コロナワクチン接種を「複数回」接種する毎に、発現上昇する遺伝子群の同定に成功し、海外医学雑誌「*Journal of Medical Virology* 誌 (Impact factor (2021):20.693) (Clarivate, 2022)」に報告した。

◆川崎市内科医会は、市内ベンチャー企業「株式会社ナレッジパレット(團野宏樹・福田雅和 共同創業者)」との共同応募により、「川崎市産学共同研究開発プロジェクト補助金」を獲得。市内クリニック・民間病院に勤務する、医師を始めとした医療従事者自らが被検者となり、合計 993 の経時的な血液検体を回収。抽出された、血清および末梢血単核細胞(PBMC: Peripheral Blood Mononuclear Cells)を用い、993 検体の中和抗体解析ならびに、705 検体の次世代シーケンサー(NGS: Next Generation Sequencing)による遺伝子発現解析を行うことに成功した。

◆このNGS解析には、川崎市内科ベンチャー企業「株式会社ナレッジパレット」による高精度・大規模トランスクリプトーム解析技術を応用した。膨大な検体数のNGSトランスクリプトーム解析を川崎市内科

医会、聖マリアンナ医科大学との共同で実現することに成功した。

◆本解析から得られた膨大なデータは、聖マリアンナ医科大学 大学院医学研究科 バイオインフォマティクス学分野（山本博幸教授）、総合川崎臨港病院理事長 渡邊嘉行、株式会社ナレッジパレットとの共同バイオインフォマティクス解析作業により、コロナワクチンを「複数回」接種する毎に体内で発現上昇してゆく「遺伝子群」を発見した。

本研究内容は、中和抗体の解析結果（第1報）を昨年、海外医学雑誌「*Journal of Clinical Laboratory Analysis*」誌（Impact factor（2021）：3.124）掲載後、今回の「大規模トランスクリプトーム解析」を第2報として海外医学雑誌「*Journal of Medical Virology*」誌（Impact factor（2021）：20.693）（Clarivate, 2022）」に報告した。本研究手法と研究結果がもつインパクトは非常に高く、今後の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）発症の病態解明に、さらにはmRNA ワクチンの更なる開発進歩に大きく貢献するものと期待される。

◆さらに、本研究で経時的に回収された705血液検体の一部は、1細胞RNA解析（Single cell RNA seq）にも対応できる検体保管がなされており、今後は、これらの残検体を、世界のCOVID-19研究、mRNA ワクチン研究に活用することを検討している。「川崎市内科医会」は、国内外研究機関との共同研究等の機会探索を検討しており、マッチング先の紹介等、今後、川崎市等の公的機関に相談する予定である。

## ■ プレスリリース発表者

渡邊嘉行（総合川崎臨港病院 理事長、川崎市内科医会 副会長）

山本博幸（聖マリアンナ医科大学 大学院医学研究科 バイオインフォマティクス学分野 大学院教授）

出川寿一（川崎市内科医会 会長）

羽鳥 裕（川崎市内科医会 名誉顧問）

團野宏樹・福田雅和（株式会社ナレッジパレット 代表取締役 共同創業者）

## ■ 今後の展望

『ALL 川崎』としてワンチームとなったきっかけの1つを提案・支援してきた当財団としては、引き続き川崎市と共に研究支援およびマッチングなどを積極的に行っていく。

※本記事引用元

：聖マリアンナ医科大学 Website

URL：[https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/today/20230714\\_01/](https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/today/20230714_01/)

## 組 織 概 要

組 織 名：聖マリアンナ医科大学

創 立：1971年

所 在 地：川崎市宮前区菅生 2-16-1

電 話：044-977-8111（代表）

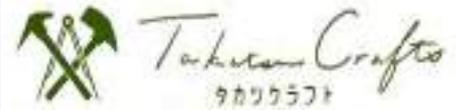
代 表 者：理事長 明石 勝也（アカシ カツヤ）

事 業 内 容：大学運営他

U R L：<https://www.marianna-u.ac.jp/>

## タカツクラフト（産産マッチング）

つながる町工場  
～『つながる』をテーマに、  
ものづくりの輪を広げていく～

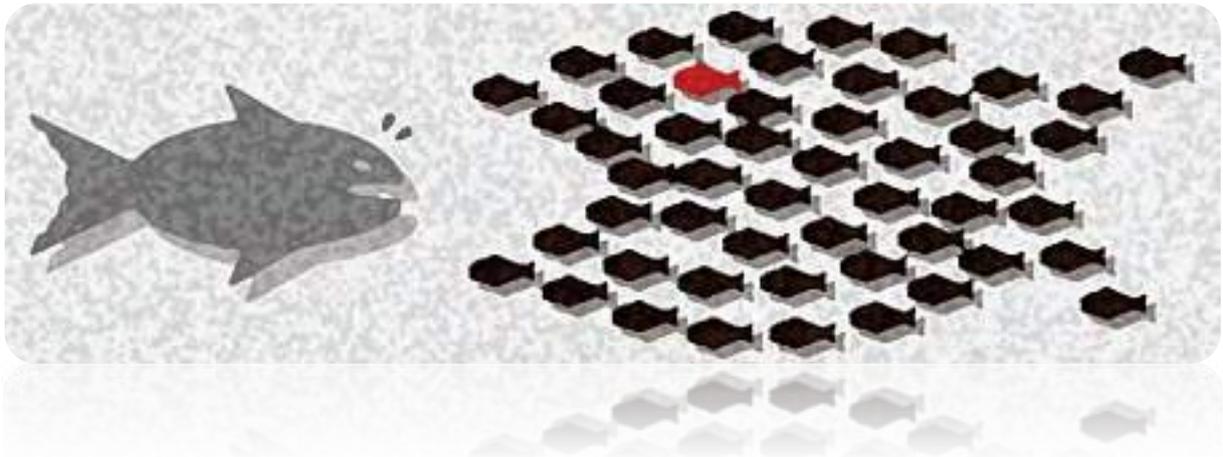


川崎市には、ものづくりのプロである町工場が集積している。そんなプロたちが手を取り合っ  
て、新たなものづくりを追求していく共同受注体・「タカツクラフト」について紹介する。

### ■ 「タカツクラフトとは」

神奈川県川崎市の中心部に位置する高津区は、中小企業の町工場が数多く点在し、ものづくりの原点を垣間見れる職人の街。その地域産業の発展を目指し、約 300 社の地域企業で構成する異業種の協同組合が高津工友会である。タカツクラフトは、高津工友会に属するメンバーが集まり、情熱とこだわりを持った個性あふれる多様なスキルを活かして、新たなものづくりの可能性を追求していく共同受注ユニットである。

大量生産・薄利多売の時代から、個々のニーズが多様化し、高い品質が求められるようになった。そんな個々のニーズに合わせたものづくりを得意とするのが、町工場であり、お客様の声を聴き、その製品に合わせた開発チームを編成、速やかに量産を見込んだ試作提案ができる。



1社1社は小さくても、タカツクラフトはスイミーのように、結束力がある。

タカツクラフトを起点として、ものづくりを川崎に残していきたい。

<特徴>

- ① 『研究・開発分野』とつながる
  - ・見学ツアーの開催（つながりたい企業への工場見学）
  - ・出張キャラバン（展示会、ものづくり体験イベント）
  - ・共同受注システム（開発試作案件を一元化して受注）
- ② 『地域・社会』とつながる
  - ・地域イベントへの積極的な参加（ワークショップ）
  - ・デュアルシステム教育への参画（未来の地域産業を担う若者の発掘と育成）
  - ・教育機関寄付講座（市内大学で講演）
- ③ 『ものづくり仲間』とつながる
  - ・他団体との交流会

## ■ 開発事例紹介

### 【CASE01：大豆選別機】

『国産大豆の自給率をあげよう！』をテーマに掲げ、小規模農家向けに、大豆収穫後の選別作業の負担軽減と、作付しやすい環境を提供できるように、農家の意見を聴きながら開発した。

本製品は移動させやすいようにコンパクトな設計で、メンテナンスが容易かつ誰もが使いやすいシンプルな構造である。福祉施設に置くことで障害者雇用の創出が期待できる。

また、「令和5年度川崎ものづくりブランド」に認定されている。



### 【CASE02：キムチポット】

\*依頼元：有限会社グリーンフーズあつみ おつけもの慶

「川崎の食」と「ものづくり」がコラボし出来上がった製品。SDGs（持続可能な開発目標）推進の一環として「キムチを詰めるパックを削減したい」という、おつけもの慶からの相談に、へら絞り加工（金属板を回転させながらへらと呼ばれる棒を押し当てながら加工する技術）を用いてステンレス製のキムチポットを製作した。手作業で製作し、臭いが漏れない機密性を追求している。



### 【CASE03：さかなバケツ】

\*依頼元：株式会社 新江の島水族館

水族館のイルカショーやトレーニングで使用しているプラスチック製の給餌バケツをステンレス素材で製作した。二重構造で、内側の容器に穴を開けて、ドリップ（魚から出てくる組織液）が落ちることで、魚とドリップを切り離すことができる。衛生面や機能面の各種条件を満たすバケツは既製品では流通しておらず、タカツクラフトと共同開発したことで実現した。また、「令和5年度川崎市スマートライフ大賞『最優秀賞』」を受賞している。



## ■ 新たな展開～今後について～

「川崎の町工場を仕事で溢れさせよう」という目標のもと、『川崎の地域総合商社』を目指して取り組んでいきます。様々な分野の強みを持った仲間と一緒に、海外展開を最終目標にして、『つながる町工場』のネットワークを『顔の見える関係』と『多様性』を強みに、活動の幅を広げていきたいと思っています。」とタカツクラフトのメンバーは語っている。

## 組織概要

組織名：タカツクラフト（協同組合高津工友会 青年部）

連絡先：info@takatsucraft.com

URL：https://www.takatsucraft.com/



# ハップ・ビー・ビー 株式会社

大企業の開放特許を活用して開発！  
自己キレイカを引き出すハーブ水  
「伯爵は糖が嫌い」



代表取締役 内海 亜紀子

知財マッチングとは、知的財産の移転を手段とした企業や団体間のビジネスマッチングである。公益財団法人川崎市産業振興財団（以下、当財団）は川崎市役所とともに、中小企業に対し大企業の特許技術を活用した自社製品を促す知財マッチング「川崎市知的財産交流事業」を全国に先駆けて取り組んでいる。本稿ではこの「川崎市知的財産交流事業」を最新の成約事例も含めて紹介する。

## 「川崎市知的財産交流事業」とは

多くの大企業は、保有する知的財産が自社で活用されていないといった、いわゆる休眠特許問題を抱えており、一部の企業はその解決策として、休眠特許を開放特許（大企業がライセンスを前提に一般に開放する特許）として公表している。川崎市役所と当財団では有効に活用されていなかった「もったいない」開放特許を中心に紹介し、自社製品開発や既存製品の改良に役立ててもらおう知財マッチングを「川崎市知的財産交流事業」として平成19年度から重点的に実施している。大企業側からのライセンス供与等のマッチングが成功すれば、中小企業側には「0 から開発する時間を省き、不足する技術を速やかに得られる」、「大企業のブランド力を活用できる」といったメリットが発生する。

本事業にご参加いただいているアークレイ(株)は、自社が開発した機能性食品素材の有効な活用を検討している中で参加いただくことになった。

## ママ目線から開発されたパンケーキキックス『ウルトラミックス』

パンケーキキックスの製造販売、製菓材料や雑貨を販売しているハップ・ビー・ビー株式会社。

こだわりの商品であるパンケーキキックス「ウルトラミックス」は、2006年、同社代表の内海亜紀子氏自身が、我が子の離乳食用にキッチンで作ったパンケーキに着想を得て、製粉会社に（乳児を抱えて）アイデアを持ち込み、商品化された健康志向パンケーキミックス。自身の出産を機に離乳食用に市販のホットケーキミックスを使おうとしたところ、原材料名に馴染みのないカタカナが数多く表示されていることに疑問を持ったことが発端であった。そういったことから、内海氏は自身が納得のいくレシピに刻んだ野菜を混ぜたパンケーキを焼いて我が子に与えていた。

ウルトラミックスは、トランス脂肪酸フリー、アルミフリー膨張剤使用、北海道産バターミルク入り、香料・着色料不使用。更には砂糖、塩分極控えめでヘルシー、且つしっとりもちもち食感の高付加価値品であり、発売後にインターネットでの口コミを経て、大手スーパーマーケット、百貨店、生協、専門店等の全国の店頭に並び、海外への輸出も加えて、累計150万袋を売る大ヒットとなった。また、同名のインターネット店『ウルトラミックス』では、内海氏自身をペルソナとして、子育て中の様々な親子シーン向けの雑貨や行楽品などのオリジナル品の開発・販売、およびお菓子・お弁当作り、子ども会・幼稚園などの団体向けの製菓材料、食品、雑貨などを販売している。



## ■ アークレイ(株)の知的財産を活用した新製品『伯爵は糖が嫌い』

いつの時代であっても“健康”や“食事”へ対する関心は強い。子育てが一段落した世代であればなおさらかもしれない。また一方で、ひと昔前と異なり、たとえ自然に近いものでも、見た目も味も地味で質素、美味しくないものは受け入れられず、ヒットの原動力となるロコミも増えづらい。写真映えするような彩りを食品に与えることができつつ、添加物ではなくて、野生植物のもつ本質的な機能・効能を摂り入れることができる素材を、創業から20年近く、また、内海氏個人的にも探していた。

そのような中、川崎市で推進している「川崎市知的財産交流会」の存在を川崎市産業振興財団の職員から聞き、同財団知的財産コーディネータより、本交流会に参加している大企業アークレイ(株)が持つ機能性食品素材「AGハーブ MIX™」を紹介された。

アークレイ(株)とのマッチングから生まれた商品の名前は『伯爵は糖が嫌い』。体内の糖化に着目し、植物のエキスそのままをパウダー化、有用成分を凝縮した「AGハーブ MIX™」を含有したサブリースウォーターである。

添加物・甘味料・合成着色料を一切加えておらず、アントシアニンを豊富に含むバタフライピーのブルー、ポリフェノールを含むハイビスカスのレッド、DNJを含む国産桑の葉のグリーンの3種の鮮やかな色合いや風味を楽しめるようになっている。また、話題性を意識して、カエル(若返る)の伯爵をキャラクターとして商品化した。

「健康食品でもなく、添加物(合成着色料)でもない、お茶でもない、潜在的なジャンル“AGE対策の新しいハーブ水”という新分野の市場開拓を時間をかけて行っていきたい」と内海氏は語る。



## 会社概要

企業名：ハップ・ビー・ビー株式会社

創業：2005年(平成17年)7月

所在地：川崎市宮前区潮見台7-22

電話：03-6453-1822

代表者：内海 亜紀子(ウツミ アキコ)

資本金：1,000万円

事業内容：パンケーキミックス、食品・雑貨等の商品開発、および製菓材料、食品、行楽品等の販売

URL：<https://www.ultramix.co.jp/>

# 外国人材活躍応援フォーラム立上げについて

(川崎市新産業政策研究事業)

外国人材がいきいきと活躍できる  
企業づくりや地域社会の形成に向  
けた情報の共有・発信の場作り！



現在日本では、特に中小企業においては、人材不足問題が深刻化している。少子高齢化が加速する中、日本人だけでこの問題を解決しようという考えは今や不可能に近い。

そこで、川崎市産業振興財団（以下、当財団）では、「外国人雇用・就労支援等検討会」を設置し、2021年度及び2022年度の2年間（各年度4回）にわたり、外国人雇用をおこなう市内の中小企業や大手企業へのヒアリング調査、市内外国人起業家からの状況報告などをもとに、今後の外国人雇用・就労支援等のあり方について議論を展開してきた。今年度以降については、2年間の検討内容を踏まえ、当財団と検討会参加メンバーをはじめ、外国人の雇用・就労に関心のある皆様にも呼びかけをし、外国人材が地域社会において活躍できる取組をすすめていくこととなった。本稿では、今年度立ち上げた「外国人材活躍応援フォーラム」について紹介する。

## 外国人材活躍応援フォーラムキックオフシンポジウム開催

「外国人材活躍応援フォーラム」立上げを記念して、10月3日に外国人材活躍応援フォーラムキックオフシンポジウムを開催した。

基調講演では、日販グローバル(株) 代表取締役 米山伸郎氏、かさまゆみこ事務所 代表 笠間由美子氏の2名に登壇していただいた。また、パネルディスカッションは、米山氏をファシリテーターとして、基調講演に続き笠間氏、(株)東京エンジニアリング 代表取締役 貝田充氏、横浜市立大学コーディネーター河瀬恵子氏、ViZO(株) 代表取締役 ホー・フィー・クーン氏の5名で実施。外国人材を派遣、支援、雇用するといった立場、日本で起業した外国人といった立場といったそれぞれの視点から発言いただいた。

人手不足で困っている企業にとって、外国人材の雇用という選択肢もあることを示唆できたとしたら本望だ。



(左から米山氏、笠間氏、貝田氏)



(左から河瀬氏、ホー氏)

## ■ 第1回セミナー「外国人材受入の心構えと課題」の開催

今回、新たな試みとして、前半のコーナーでは、実際に日本で働く外国人材の方3名に登壇していただいた。外国人材をテーマとして活動しているにも拘わらず、日本人だけでやってもこれ以上の発展は叶わないと考えたためだ。日本に来た理由、日本の魅力は何か、日本で働いていく上での困りごと等、外国人材の方の生の声が聴ける貴重な時間となった。

後半のパネルディスカッションでは、今回も米山氏にファシリテーターを担当していただいた。登壇者は、(株)赤原製作所 代表取締役 赤原宗一郎氏、大和合金(株) 代表取締役社長 萩野源次郎氏、iCONM 副センター長 永井浩二氏の4名。外国人材の受け入れを積極的に行っている立場として、外国人材を受け入れる上での心構えと課題を共有していただいた。成功事例だけでなく、失敗事例の紹介もあったことで、今後外国人材を雇用する際に注意すべき点が分かりやすく伝わったようだ。

今回のセミナーは、反響も大きく、複数のメディアに取り上げていただいた。



(外国人材の方へのインタビューの様子)



(左から米山氏、赤原氏、萩野氏、永井氏)

## ■ 今後の展開について

今後については、外国人材活躍に関する情報提供の場作りに加え、コミュニティの場として、活動を続けていく。具体的には、年1回のシンポジウム、年2~3回のセミナーの開催を予定している。

連日、新聞やテレビ等で外国人材に関する話題が飛び交っている。そのような中で、当財団として何ができるかを考えて、外国人材を雇用している、しようとしている企業様にとって少しでも有益な情報を発信していきたい。また、外国人材、留学生の方々に対しては、日本に来てよかった、日本で働くことにしてよかったと思えるような環境づくりへの手助けができればと考えている。

### 「外国人材活躍応援フォーラム」に関する問い合わせ先

川崎市産業振興財団 新産業振興課

電話：044-548-4115 / mail: shinjigyo@kawasaki-net.ne.jp



# 支援事業紹介

## コーディネート支援活動・出張キャラバン隊

中小企業の新製品・新技術開発や大学等との共同研究などの新たな事業展開に対して、広範かつ専門的な知見を有する民間専門家等のコーディネータおよび各支援機関のスタッフ等が直接企業を訪問し、新規事業展開に活用できる各種施策の情報提供や、企業・大学・研究機関等の連携先紹介、課題解決等を目的に出張型のワンストップサービスを実施しています。

また、企業訪問活動を通じて出会った国内・世界のトップシェアを誇る製品、オンリーワンの技術、匠の技、生まれたてのアイデアなどについては、神奈川新聞社・日刊工業新聞社などのマスメディアへの情報提供を行なうことで、企業や製品のPRのお手伝いを行なっております。

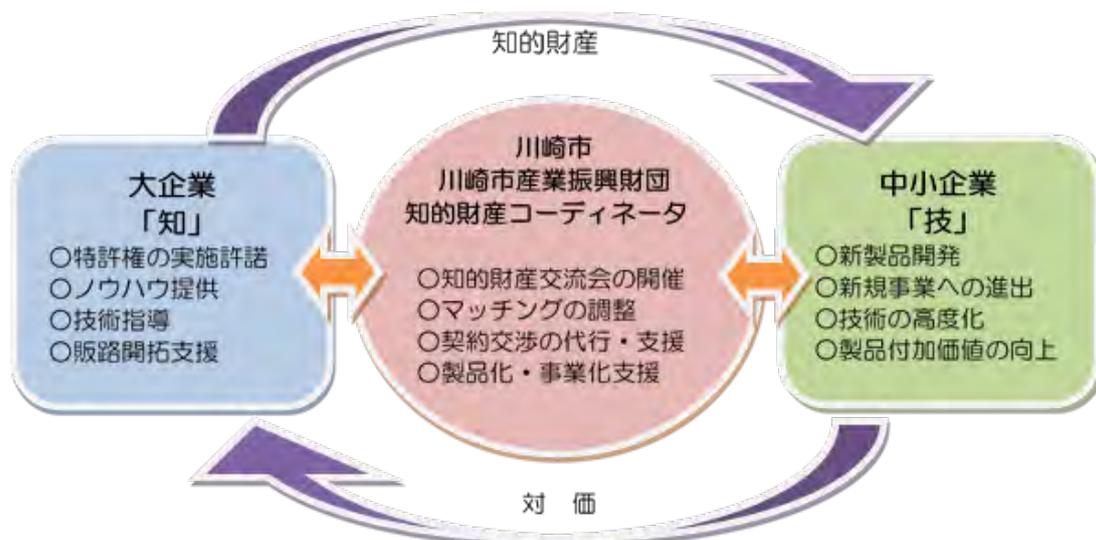
【新産業振興課 連携推進係／044 - 548 - 4152】



## 知的財産交流事業 (川崎市知的財産戦略推進プログラム重点事業)

大企業や研究機関等が保有する開放特許等の知的財産を中小企業に紹介し、マッチングから製品開発、販路開拓に至るまでの総合的な事業化支援を行います。

【新産業振興課 連携推進係／044 - 548 - 4164】

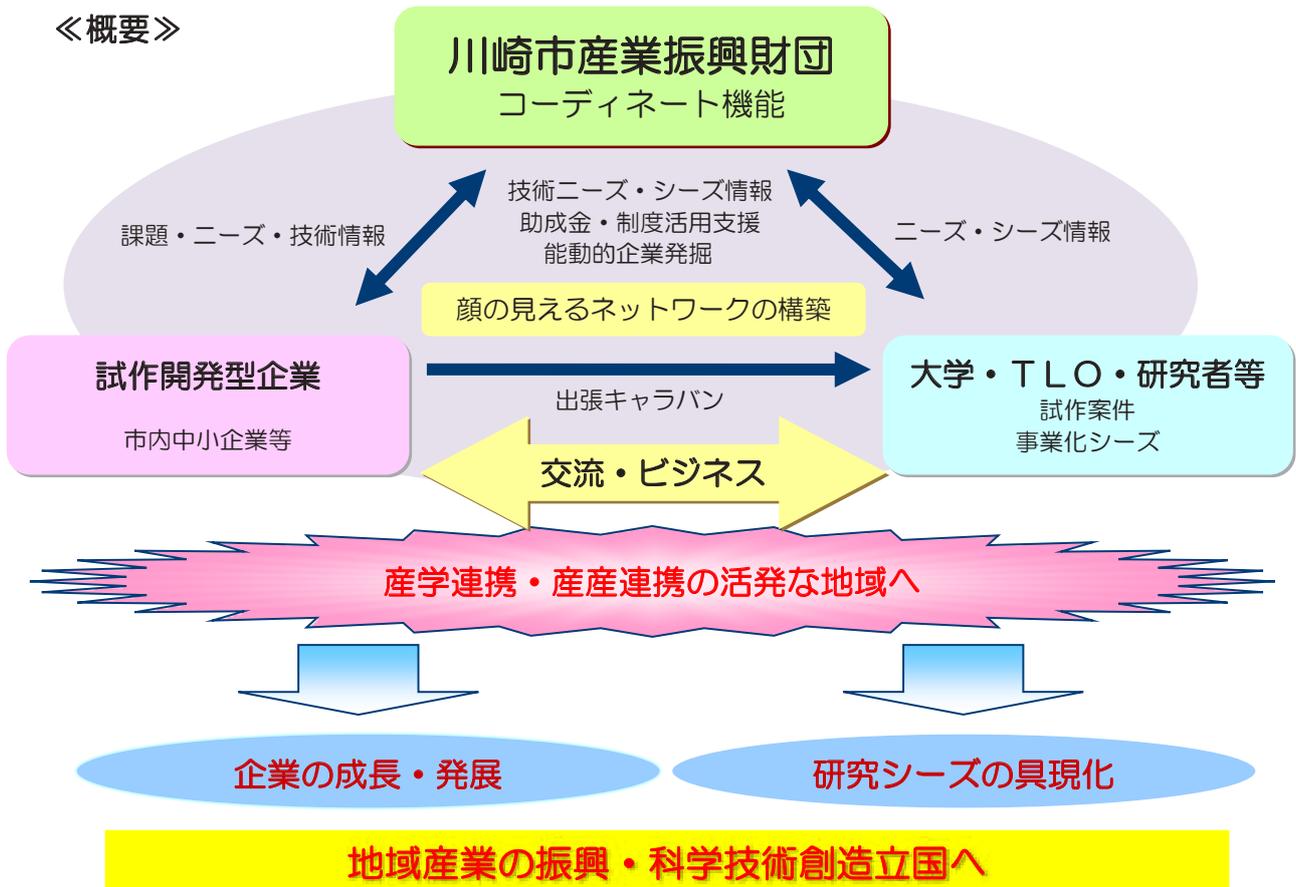


## 産学連携 試作開発促進プロジェクト

川崎市域に集積する中小製造業の重層的な技術基盤が大学の研究開発のスピードアップ、精度向上につながるという視点から、「大学から企業への技術移転」という一般的な産学連携だけでなく、「企業から大学への試作支援」といったシーズ研究段階における連携促進に向けたアプローチを行い、大学等の研究機器等に係る試作支援を通じて相互の信頼関係を築きながら、中小企業の技術力の向上、産学共同研究開発の促進など、「ものづくり都市・川崎」ならではの新たな産学連携を目指します。

【新産業振興課 新事業支援係／044 - 548 - 4165】

《概要》



## 川崎市産業振興財団の中小企業支援活動

公益財団法人川崎市産業振興財団（中小企業サポートセンター）は、中小企業を応援する総合支援機関です。経営革新、新事業進出、新規創業、産学連携など、様々な課題についてサポートします。

### ■窓口相談等事業

【中小企業サポートセンター／044 - 548 - 4143】

企業が直面する経営、税務、技術、特許等の様々な課題に対し、各分野の登録専門家が無料で適切な助言を行います。

### ■専門家派遣事業

【中小企業サポートセンター／044 - 548 - 4159】

有料で登録専門家を一定日数企業に派遣し、企業診断と課題解決のために必要な助言を行います。

### ■ワンデイ・コンサルティング

【中小企業サポートセンター／044 - 548 - 4159】

比較的小規模もしくは緊急性を要する経営課題を有する企業や個人事業主等を対象に、適切な登録専門家を原則1日単位で、即応かつ無料で派遣します。

## かわさき起業家オーディション

全国から新規開業や新分野進出につながるビジネスプランを募集してオーディションを行っております。起業への登龍門ともなっており、優れたアイデアにはビジネスパートナーとの面談の場の提供や融資の利用等、アイデアを実現するためのサポートを行っております。

【かわさき起業家オーディション事務局／044 - 548 - 4163】

### ★ 受賞者一覧（第 135 回～第 138 回）

| 第 135 回 令和 5 年 7 月 21 日  |  |
|--------------------------|--|
| hab 株式会社                 | 子供専用相乗りタクシーアプリ「hab」                      |
| 株式会社 SHO-CASE            | 中小規模工事向け労務安全管理 SaaS「SHO-CASE」            |
| 株式会社 Redge               | アジア・アフリカ向け医療機器管理教育システムの開発/提供             |
| 寛廣 亜希子                   | ペットの歯周病早期発見・予防サービス                       |
| 第 136 回 令和 5 年 9 月 15 日  |  |
| KUROFUNE 株式会社            | 在日外国人労働者と雇用企業を支えるスーパーアプリの提供              |
| 株式会社 エニマス                | 電気のかんたんモニタリングツール「エニマス」                   |
| 合同会社 ESSH                | 多機能混和剤『Z. E. R. O. 』—環境系地域循環型社会の実現—      |
| 株式会社 ロビーム                | 移動式無煙「ミニピザ窯」-ピザを焼いて、まちを元気に               |
| 今井 結菜                    | 神社仏閣のコミュニティサイトを通じた観光地発掘事業                |
| 第 137 回 令和 5 年 12 月 8 日  |  |
| 株式会社 Tailor App          | デジタル時代における DX 部隊（広告/マーケティング人材）の内製化       |
| 株式会社 ドゥーイノベーション          | R F I D と人感センサーの併用利用で行うエリア検知センサーの展開      |
| Brand Maker Enabler 株式会社 | 電力消費 1/1440 電池、充電不要の電池レス電子錠              |
| 株式会社 C. I                | 印象カブランディング「人的資本の最大化」                     |
| 第 138 回 令和 6 年 3 月 8 日   |  |
| ダンウェイ株式会社                | Unlocking! シームレスパディ®で障害者の秘めた能力の発掘・開花を実現! |
| 株式会社 emotive             | フレイル予防支援対話 A I 「安心日記」                    |
| 株式会社 グローカル M A           | マーケティングオートメーションの成果を向上させる「件名 A I」         |

\* 第 134 回以前の受賞者一覧およびオーディションの詳細等は下記の HP でご確認ください。  
<https://www.kawasaki-net.ne.jp/bizidea/>

## 川崎ものづくりブランド認定事業

川崎市、川崎商工会議所などで組織する「川崎ものづくりブランド推進協議会」（会長 草壁悟朗〔川崎商工会議所会頭〕）では、川崎市内の中小製造業者等が生み出した優れた製品・技術を広く国内外にアピールし、製品の販路拡大、製品・技術のイメージアップ、新市場への進出などを支援することを目的として、平成16年度より川崎ものづくりブランドの認定事業を実施しています。

第20回目となる令和5年度においては、5件の製品・技術（次頁以降参照）を新たに認定しました。今回の5件を加え、現在、103件の製品・技術が認定されています。

【川崎市 経済労働局 経営支援部 経営支援課／044-200-2324】

【川崎商工会議所 企画広報部／044-211-4112】



## 第20回 川崎ものづくりブランド認定製品・技術 一覧

（企業名五十音順）

### 1 シェア型大豆選別選粒機「YOUJINBOU」



【申請会社名】

**株式会社大矢製作所**

〒211-0013 川崎市中原区上平間 363

【申請製品・技術の概要】

本製品は、移動させやすいようにコンパクトに設計し、複数の農家でシェアすることも可能な、小規模農家向け大豆選別機。メンテナンスが容易で、誰もが使いやすいシンプルな構造から、農家が抱える手作業で行う大豆の選別作業の負担軽減を図ることができる。

また、福祉施設に置くことで障害者雇用に貢献するとともに、地域産業の創出につながる可能性がある。

### 2 環境型コンクリート二次製品「防草ブロック」



【申請会社名】

**岡村建興株式会社**

〒210-0852 川崎市川崎区鋼管通 4-5-3

【申請製品・技術の概要】

道路の縁石等に繁茂する雑草は、歩行空間の確保や、景観向上等のため、定期的な除草作業が必要となっている。本製品は、植物の芽や茎が上へ成長し、根は重力を感知し下へ成長する特性を利用した道路管理を担う行政機関向け防草ブロック。植物自らが成長を抑制するため、従来行われていた防草作業（除草作業や除草剤の散布）が削減され、環境負荷削減が期待される。

### 3 測定用固定治具「Air-fix」



#### 【申請会社名】

**佐々木工機株式会社**

〒213-0006 川崎市高津区下野毛 1-9-33

#### 【申請製品・技術の概要】

三次元測定機器等で対象物を正確に測定するためには、位置ズレがないよう対象物を固定する作業が必要である。本製品は、マグネットが使えない石定盤やセラミック定盤でも対象物を任意の位置に固定できる真空吸着式固定治具。吸着中でも排気ポートを指で押えるだけで簡単に移動・脱着ができ、従来のねじ込み式の固定治具に比べ、固定作業の時間短縮につながる。

### 4 幼稚園バス置き去り防止装置「まもるくんA」



#### 【申請会社名】

**株式会社日本ビューテック**

〒211-0041 川崎市中原区下小田中 3-26-6

#### 【申請製品・技術の概要】

幼児の置き去りを防止するため、本製品は、運転後の車内点検を乗務員に促すアラーム機能を有するとともに、園児からも非常を知らせることができるボタンを一体化させたシンプルな構成。走行中に園児が誤って操作しても誤作動を起こさない「いたずら防止回路」も搭載。バスメーカーに採用されるなど販売実績がある。今後、高齢者・介護分野への転用も期待される。

### 5 携帯燃焼台「M.B.K グリル pad」



#### 【申請会社名】

**株式会社 MEYKOU**

〒213-0032 川崎市高津区久地 4-27-14

#### 【申請製品・技術の概要】

本製品は、7つのパーツで簡単に分解・組立ができる工具不要の組立式燃焼台。軽量化されながらも全てのパーツの厚さが1.5mmで統一され、熱の歪みを考慮して繰り返し使用することが可能であり、コンパクトかつ耐久性も兼ね揃えている。ユーザーの希望に応じたレーザー加工ができるデザインで、インフルエンサーやイベント等での引き合いがある。

産・学・官 連携事例集  
企業マッチング事例

編集・発行  
公益財団法人 川崎市産業振興財団 事業推進課

〒212 - 0013  
川崎市幸区堀川町 66 番地 20 川崎市産業振興会館 7 階  
電話 044 - 548 - 4115

令和 6 年 3 月発行  
(無断転載・複写を禁じる)